

エリアウェーブ

峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2731
 FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。 Email : hirayama-atxj@pref.yamanashi.lg.jp



「 気持ち新たにスタート 」

峡東教育事務所長 楡井 俊彦

新緑が、美しい季節となってきました。皆様方には日頃より峡東教育事務所の各業務に対しまして、ご理解とご協力、ご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。

今年度の峡東教育事務所のスタッフは、所長・副所長・次長に地域教育担当が5名、学校教育担当が3名、総務担当が3名の14名に、スクールソーシャルワーカーの2名を加えた総勢16名です。

峡東教育事務所管内の山梨市・甲州市・笛吹市の3市の教育委員会・51校の小中学校・5校の県立学校、60の幼稚園・保育園と連携・協力を密接に取りながら各種業務の目標達成に邁進していきますので、昨年度にも増して、ご支援・ご協力をお願いします。

さて、いま、教育現場は様々な課題を抱え、その対応に苦慮しています。そのような中、ふと手にした一冊の書籍があります。

原田隆史 著「いま、こどもたちに伝えたいこと」を、紹介いたします。

原田氏は、1960年大阪市生まれ。奈良教育大学卒業後、大阪市内の公立中学校に20年間勤務。保健体育、生活指導に注力、問題を抱える教育現場を次々と立て直し、「生活指導の神様」と呼ばれる。

子育ての基本から、家族を「経営」という発想でとらえる考え方・実践法、親に必要な力、いじめや不登校の問題まで、二児の父親でもある著者の実体験に基づいた言葉は、多くの親、教師を勇気づけるものばかり。新学年、新学期を迎えるにあたり、子育てに悩むお母さん・お父さんはもちろん、先生方にもご紹介したいと考えました。



『 いま、子どもたちに伝えたいこと 』

子どもたちの人格を育むために、具体的にはどのように指導すればいいのか。

答えは一つ。それは教師や親がやって見せることです。時間を守る、掃除をする、感謝の言葉を言う。それらを大人が実行して見せること。

だからこそ範となるべく教師や親は、自らを律していく必要があるのです。

私たちが幼かった頃、親は背中であげてくれたものです。「お年寄りを大切にしろ。敬え」などと親から言われたことはありませんでした。そんなことは言われなくても、親や周りの大人がすることを見ていれば、子どもながらに察することができたものです。父親の姿を見ていれば、どうすれば立派な大人になれるかが自然とわかった。美しい生き方をしている母の後ろ姿を見ているだけで、十分に見えない教育がなされていたのです。

ところが残念ながら、現代では背中であげるなどということが難しくなってきたようです。親が悪いのか、子どもが甘えているのか、はたまた社会の変化なのか。実際に見せなければ、子どもにはなかなか伝わらないのが現状です。

かつては「陰徳を積む」と言われるように、人の目につくところで良い行いをするのは恥ずかしいことでもありました。汚れているのが目につけば、人に知られないようにそっと掃除をする。いかにも私がいかにきれいになりましたなどは絶対に言わない。それが日本人としての美意識でもあったのです。今はそうしても、なかなか気がついてくれる子どもはいません。

私は教師時代に、生徒の靴をわざわざ揃えることをしていました。体育館に生徒たちが入る。体育館

履きに履き替えるので、運動靴は入り口に散乱しています。その横で私は何も言わずに、まずひたすら生徒たちの靴を揃えます。

「これが私の指導です。やって見せなければ、彼らはいつまで経ってもやりませんよ」と他の先生方に示します。実際に私のやりかたは、正解でした。

「原田先生は、いつも自分と俺たちの靴も揃えている。俺たちもせめて自分の靴だけは揃えるようにしましょう」そう考える感性のある生徒が次第に増えていったのです。これもまた、時間がかかることです。一度や二度で伝わるものではありません。

しかし、これを百日も続けてみてください。ほとんどの生徒たちは自らやるようになるものです。教師だから、生徒だからと、そんな垣根を作るのではなく、同じ人間としての立場に立ってやる。「やって見せる教育」を実践してほしい。



〈一文抜粋〉

私たちは、「いま、何を行っていかねばならないか」「何ができるのか」を考えさせられます。

学校現場では、新学習指導要領が、小学校ですすでに実施され、本年度は、中学校が完全実施になりました。これらが、目指しているものは、あらため

て確認するまでもなく「生きる力」の育成にほかなりません。

これを具現化していくためには、変化が厳しく先行き不透明な時代であっても、またどのような困難な状況においても、子どもたちが誇りを持ち、絶えず自己実現に努めていこうとする「しなやかな心」を育てていくことが、肝要であると、県教育委員会では考えています。

4月3日 知事は、私たち職員に対し、「考える公務員」であれと訓示し、前例や既存制度に無批判に従うのではなく、自分の頭で考え、改善を積み重ねるよう求めました。

ここ峡東地区でも様々な課題があります。基礎学力をいかに定着させるか。学力をいかに向上させるか。

また、いじめや不登校・虐待・家庭の問題もあります。これらの課題の解決に向けて、各学校ではそれぞれの地域の特性を生かした特色ある教育を全力で展開しています。

峡東教育事務所も学校・家庭・地域や諸機関との連携を一層強め、子どもたちの健やかな成長のためにスタッフ一丸となって取り組んでいきます。

本年もどうぞよろしくお願ひします。

「エリアウェッブ」ってどんな情報誌なの？



◇ 「エリアウェッブ」の目的

- ① ある学校作りの推進や望ましい生涯学習社会の構築に役立てる。
- ② 子育てを中心とした様々な教育情報を広め、峡東地域の教育力の向上のために役立てる。
- ③ 各情報による交流を通して、家庭・学校・地域の連携強化に役立てる。

◇ 「エリアウェッブ」の内容

- ① 地域・学校・家庭での子育て。
- ② 保・幼・小・中・高・特・大の連携や学校教育について。
- ③ 乳幼児からお年寄りまでの生涯学習や地域の教育情報など。

◇ 「エリアウェッブ」の配布先

県庁・峡東地域内の次のとおりです。

学校： 小・中・高・特・大

幼稚園、保育所、保育園

児童センター、学童保育クラブ

県教育庁各課、関係機関、市教育委員会、

福祉事務所、保健所など

保育所・園や学校などで増し刷りをしていただき各家庭に配布をお願いしています。

年間8回の発行予定です。できるだけタイムリーな情報を提供したいと考えています。

「わが地域ではこんなことをしているよ。」という耳寄りな情報がありましたら、いつでもお寄せください。できる限り掲載したいと思ひます。

県教育委員会のHPから、「峡東教育事務所」を開きますと、そちらにも掲載してあります。

園長先生、学校の先生、子育てサークルや支援団体などのいろいろな情報をもとに、地域の方々の声を聞かせていただきました。取材を通して具体的な情報をエリアウェッブに載せられたらと考えています。

「確かな学力育成プロジェクト」学習会 in 甲州市

～「Q-U」を生かした学級づくり～

1月31日、甲州市民文化会館において、市内の教職員を対象に「Q-U」についての学習会が行われました。講師に「Q-U」の開発者である 早稲田大学の河村 茂雄 教授を招き、日本の学校教育の特徴のマイナス面、理想の学級集団の構造、「Q-U」の活用法などについて実践結果を交えながら学ぶ機会となりました。

平成23年10月、甲州市では「確かな学力育成プロジェクト」を起ち上げ、①授業づくり 授業改善 ②学級づくり 集団づくり ③保護者、地域住民等との連携の3つを視点に、具体的な取り組みを進めています。



(早稲田大学 河村教授)

24年度からは市内の全学校において「Q-U」を実施し、学級集団づくり等に生かしていきます。

「Q-U」とは、楽しい学校生活を送るためのアンケートのこと。主な質問は、「あなたは運動や勉強などでクラスの人から認められたことがありますか。」「失敗したときクラスの人が励ましてくれることがありますか。」といった40項目の質問の回答をグラフ化し、学級の子どもたちの実態を把握する。それをもとに担任一人ではなく複数の教員が組織的に子どもや学級にあった対応の仕方を考え実践していく。定期的な実施が必要となる。

「甲州市ふるさとかるた」完成



甲州市教育委員会は、市の歴史や文化を、かるた遊びを通して学んでもらおうと「甲州市ふるさとかるた」を作成しました。

市内の文化財や行事などを題材にした読み札を市民から募集し、絵札は市内の中学生が描き、ふるさとのよさが45句にギュッとつまったものになりました。

かるたは、小中学校の図書館や公民館などに配布され、3月14日には塩山南児童クラブでかるた大会が実施されました。



いのちの学習

日下部小学校

たった一つの大切なもの

3月1日、山梨市立日下部小学校の2年生の親子を対象に、山梨市思春期事業の一環として、「いのちの学習」が行われました。

日本助産師会山梨県支部の助産師 井上さん・森さんが講師として授業をされました。

「あなたにとって一番大切なものはなかに？」という問いに対して、「いのち、家族、心、地球・・・」など子どもたちから元気な答えが返ってきました。

子どもたちは、針の穴くらいの大きさか

ら「いのち」が始まり、やがて大豆の大きさに成長し、お母さんのおなかの中で大切に守られ育ってきたことを知りました。

子どもたちの心の中には、「命は大切なものなんだ」「自分は大切な価値ある存在なんだ」という気持ちが芽生えたと思います。

最後に、「第2次成長期、子どもたちは自分自身を生み出す時期になります。家庭は子宮のようなもの。お母さんのおなかの中で大切にされてきたように、子どもたちの変化や成長を見守って下さい」と保護者に向けてメッセージがありました。

「へその緒」って、お母さんとつながっていた証拠だよ。



赤ちゃんの成長の変化を体験中！！

平成24年度 地域教育推進事業

地域教育支援スタッフは「地域教育推進担当(社会教育関係を含む)」、「山梨ことぶき勸学院担当」に分かれ、峡東地域の地域教育推進のために勤務しております。皆様のご支援、ご協力をお願いします。

【 主な業務 】

- ・ 学校・家庭・地域社会の連携推進（講演会、連携セミナー等の開催）
- ・ 地域教育啓発活動
- ・ 家庭教育推進に関すること
- ・ 地域教育情報誌エリアウェブの発行
- ・ 新しい学校づくり人づくり（高校入試）
- ・ 高校・インターンシップ・異校種間授業参観・県立学校出前授業
- ・ 教育相談窓口に関すること（県立学校）
- ・ 成人教育の推進（ことぶき勸学院他）
- ・ 青少年教育の推進（やまなし少年海洋道中他）



【 スタッフ紹介 】

○ 宮崎 靖

本年度、笛吹市立八代小学校より転任致しました。教育の大きな転換期である現在、家庭教育・学校教育とともに地域教育の重要性が高まってきていると感じています。

私たち地域教育支援スタッフも、組織の連携・情報提供・講演会等を通して峡東地域教育の推進に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

○ 小佐野 勝彦

地域教育支援担当2年目になります。学校・家庭・地域の連携推進、新しい学校づくり人づくり、青少年教育の育成の推進、社会教育の推進・生涯学習の振興を担当します。地域における教育の推進のために役立てるよう努めてまいります。

○ 平山 昌実

地域教育・家庭教育の推進、情報誌等を担当し3年目になります。地域と連携した活動ができるよう努めてまいります。

情報誌についてのご意見・ご感想などもお待ちしております。

○ 石川 義人

（ことぶき勸学院・東八代学園2年担当）

本年度は、事業の見直しのため2年生だけになります。東八代学園を担当します。2年生は火曜日に、月に2回ペースで八代総合会館を中心に講座を開催しています。学生の方々が、充実した学園生活が送れるように努力していきたいと思っています。

○ 益田 洋美

（ことぶき勸学院・峡東教室1年 東山梨学園2年担当）

東山梨学園担当して2年目となります。今年度の1年生は東山・東八が一緒になって、峡東教室1年生となりました。昨年度、大幅な事業の見直しが迫られる中で、何とか地域学園が残る形となりました。東山梨合同庁舎を会場に学習しています。

家庭で・地域で・学校でみんなで

早寝 早起き 朝ごはん

子どもの生活リズム向上プロジェクト

5月21日(月)
朝7時33分

金環日食をみよう!

(山梨県では173年ぶり)

日食とは、太陽・月・地球が直線上に並ぶため、月が太陽を隠す現象のことです。

「金環日食」は太陽がまるで指輪のようなリング状に見えます。6時18分頃日食がスタートし、金環食は7時31分頃から4分ほど観測できます。

日食を観察するときには、「日食専用グラス」が必要です。直接太陽を見ないように注意しましょう。